

全日

兵庫県内の不動産市場動向に関するアンケート調査票

(第10回 令和元年10月実施)

◆問1：取扱件数の最も多い市区町を1つだけ選んで○をつけて下さい。

注) 2つ以上選択された場合、無効になりますのでご注意ください。

市区町に必ず1つだけ○をつけて下さい

011 東灘区	012 灘区	021 中央区	
031 兵庫区	032 長田区	033 須磨区	
041 垂水区	042 西区	051 北区	
061 尼崎市	071 西宮市	072 芦屋市	
081 伊丹市	082 宝塚市	091 川西市	
092 猪名川町	101 三田市		
111 明石市	121 加古川市	122 高砂市	
123 稲美町	124 播磨町		
131 西脇市	132 三木市	133 小野市	
134 加西市	135 加東市	136 多可町	
141 姫路市	151 神河町	152 市川町	153 福崎町
161 相生市	162 たつの市	163 赤穂市	164 太子町
171 宍粟市	172 上郡町	173 佐用町	
181 豊岡市	182 養父市	183 朝来市	
184 香美町	185 新温泉町		
191 丹波篠山市	192 丹波市		
201 洲本市	202 南あわじ市	203 淡路市	

【以下の質問は、問1で回答された市区町の状況についてお答え下さい。】

◆問2：現在（令和元年10月1日）の地価の動向について、半年前（平成31年4月1日）と比較してどのように感じておられますか。

住 宅 地———①上昇、 ②やや上昇、 ③横ばい、 ④やや下落、 ⑤下落

商 業 地———①上昇、 ②やや上昇、 ③横ばい、 ④やや下落、 ⑤下落

全日

◆問3：半年後（令和2年4月1日）の地価の動向は、現在（令和元年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

住宅地————①上昇、②やや上昇、③横ばい、④やや下落、⑤下落

商業地————①上昇、②やや上昇、③横ばい、④やや下落、⑤下落

◆問4：現在（令和元年10月1日）の貴社の取扱件数は、半年前（平成31年4月1日）と比較してどうなっていますか。

（貴社が取扱いされている項目についてお答え下さい）

土地————①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

新築戸建————①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

中古戸建————①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

新築マンション——①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

中古マンション——①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

◆問5：半年後（令和2年4月1日）の貴社の取扱件数は、現在（令和元年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

（貴社が取扱いされている項目についてお答え下さい）

土地————①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

新築戸建————①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

中古戸建————①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

新築マンション——①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

中古マンション——①増加、②やや増加、③横ばい、④やや減少、⑤減少

◆問6：10月の消費税増税（税率8%→10%）により、上半期の住宅市場に対しどのような影響がありましたか？

◆小問1：住宅価格について

①駆け込み需要により価格が上昇した。

②駆け込み需要はあったが、価格にほとんど影響なかった。

③買い控え傾向が強まり、価格が下落した。

◆小問2：住宅の取引件数について

①駆け込み需要により取引件数が増加した。

②駆け込み需要はあったが、取引件数にほとんど影響なかった。

③買い控え傾向が強まり、取引件数が減少した。

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。

なお、今回の調査結果は公益社団法人兵庫県不動産鑑定士協会のホームページ

（<http://www.hyokan.org/>）において、12月中旬に掲載予定です。

問い合わせ先：公益社団法人兵庫県不動産鑑定士協会（TEL：078-325-1023）

ご回答は公益社団法人兵庫県不動産鑑定士協会宛、令和元年10月10日までにご返信いただきますようお願い致します。

返信先 F A X : 0 7 8 - 3 2 5 - 1 0 2 2